

放課後子ども総合プランの推進を

**問** 放課後児童クラブと放課後子ども教室の2つの事業を一体型として推進する放課後子ども総合プランについて、市ではどのように取り組んでいるのか。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 市には、全小学校区に児童館か子育て支援センターがあり、放課後児童クラブはそこで実施されている。また、施設の増設工事を行い、受け入れ児童を小学6年生まで拡大し、児童クラブを中心として、放課後子ども教室を一体的に推進している。

**問** 現在、児童館では児童クラブ待機児童がいるのか。また、待機児童についてはどのように対処しているのか。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 佐屋児童館で2名、永和児童館で3名いる。受付期間以降の利用申請であったので、残念ながら児童クラブ利用者が減るまで待機してもらっていない。

**問** 夏休みに利用児童数の大幅な増加が予想されるが、何か対策はあるか。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 既存施設内の有効活用、指導員の確保をする。また、佐屋児童クラブでは、佐屋小学校の視聴覚室も活用し、利用児童数を分散することで、適切な生活環境の確保を図る。

**問** 放課後児童クラブの利用対象でない児童は、児童館を利用できないのか。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 児童館、子育て支援センターは18歳未満であれば、放課後の居場所として施設を利用することができる。

**問** 今後、佐屋児童クラブ以外でも小学校を利用していく予定はあるか。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 佐屋児童クラブは特例の措置である。他の児童クラブは施設内の有効活用で利用児童数増加の対処が可能と考えている。

その他の質問

- ・ 公有財産の有効活用を
- ・ 市が保管する文化財、歴史資料について



高松幸雄 議員



▲放課後児童クラブの様子

ンケート」で、海拔表示をもっと増やしてほしいという意見が多かった。公共施設だけではなく、電柱など多くの人が目にするところへ海拔表示を増やすことを提案したい。

津島市では、市と自主防災会が貼る場所(電柱)を協議し、中部電力に許可をもらい、海拔表示シール203枚を設置した。経費も203枚で12万5千186円。かなり安く啓発できる。防災啓発や、自主防災会の取り組みとしても有効ではないか。

**市民協働部長** 津島市などの内容をよく勉強をして取り組むべきか検討したい。ただ、4年ほど前に、主なところに海拔表示した絡みもある。

**問** 災害時、指定避難所だけでなく、自宅避難をされている方や、近所の公園など指定避難所ではないところで避難生活をされている方々に物資が届くかどうか課題となる。市の考えは。

**市民協働部長** 指定の避難所以外の避難者については、状況がわかりにくいと思うが、被災の際に事態をいち早く把握できるよう準備したい。



▲津島市の海拔表示